

特定非営利活動法人(NPO) 日本メディカルライター協会 — JMCA

第5回 ヘルスコミュニケーション シンポジウム

『患者を支援する医療情報とは？』
— 問われるメディカルコミュニケーターの役割 —

日時: 2006年11月22日(水) 13:30~17:30 (開場 13:00)

会場: 東京大学医学部教育研究棟 14F 鉄門記念講堂

■ 13:30~17:30 シンポジウム・パネルディスカッション

定員: 200名 非会員の方もご参加いただけます(会員優先)

参加費: 会員…3,000円 非会員…6,000円 学生…1,000円

※賛助会員の方は、年会費1口に付き2名様まで会員扱いでご参加いただけます
※お振込み後の返金は致しかねますので、予めご了承ください

後援: 財団法人パブリックヘルスリサーチセンター Japan Public Outreach Program (J-POP)

■ 18:00~20:00

懇親会
参加費

鉄門記念講堂隣接のイタリア料理店「カポ・ペリカーノ」で行います

会員・非会員・学生とも 3,000円

※お振込み後の返金は致しかねますので、予めご了承ください

より良い医療の提供と並んで、患者を支援するための医療情報システムの確立が社会課題となっている。先頃、厚生労働省の合同研究班がまとめた「がん体験者の悩みや負担等に関する実態調査報告書」によれば、患者が要望する必要事項の最上位に、患者同士の情報交換、正確な情報提供、情報公開システムの確立など、情報に関する項目が並んでいる。同報告書は、患者のための「がんの悩みのデータベース」の早期開発と、それによる患者-医療者間のコミュニケーションの改善こそが緊急課題であると結んでいる。

いま様々な医療現場において、メディカルコミュニケーションのあり方が問われている。情報を作る側(国、自治体、医療・研究機関など)と利用する側(患者)の間に立って、コミュニケーターはどのような姿勢で、情報発信活動に向き合えばよいのだろうか。

シンポジウムでは、まず第1部基調講演として、「がん患者が求める情報」と題し、エッセイストの岸本葉子氏に、患者が求める情報とメディカルコミュニケーションのあり方の両面を問題提起してもらう。同氏は、現在虫垂がんの治療を受けながら、積極的な執筆活動を展開している。

第2部では4人の演者から、現在構築中の患者のための医療情報システムについて報告してもらう。国立がんセンターがん対策情報センターの高山智子氏には、国が始めた“がん患者向け情報システム”について、静岡がんセンターの山口建氏には、厚生労働省と自治体が共同でまとめた“がん体験者の悩みや負担に関する実態調査”について、民間団体が主導する“患者の語り”データベース DIPEX-JAPAN 設立準備会の佐藤りか氏には、その社会的意義について、NPO 法人血液情報広場つばさ代表の橋本明子氏には、患者支援団体の立場から、患者向け治療解説フォーラム企画・開催、情報誌の作成、電話相談を通じた双方向の情報発信のあり方について、それぞれ紹介してもらう。なお各演者からは、専門技能者としてのメディカルコミュニケーターに対する具体的な要望を述べてもらうことにする。

第3部パネルディスカッションでは、患者側のニーズをベースにした医療情報コンテンツ作成時の留意点や、情報作成者と利用者双方向の情報交換のあり方など、メディカルコミュニケーション活動に欠かせない基本指針を浮き彫りにしてもらう。

プログラム

13:30~14:15

第1部: 基調講演『がん患者が求める情報』

エッセイスト

岸本葉子

開会挨拶・第1部司会: JMCA 監事/株式会社シナジー 代表取締役社長

七野俊明

14:20~16:20

第2部: 報告『患者のためのがん情報システム: 問題と課題』

第2部・パネル司会: JMCA 理事/ライフサイエンス出版株式会社 代表取締役社長

武原信正

1) 国の立場から: 国立がんセンターが始めた患者向け情報提供

国立がんセンターがん情報・統計部 診療実態調査室 がん対策情報センター

高山智子

2) 自治体の立場から: 静岡がんセンターがまとめた「がん患者の声」

静岡がんセンター総長

山口 建

3) 民間活動の立場から: 日本でも、「患者の語り」データベースを立ち上げよう

DIPEX-JAPAN 設立準備会 佐藤(佐久間)りか

4) 患者支援団体の立場から: 患者が必要とする双方向の情報

NPO 法人 血液情報広場つばさ代表 橋本明子

- コメント -

- ・ジャーナリズムの立場から
- ・研究支援事業の立場から

- ・研究者の立場から
- ・日本メディカルライター協会の立場から

16:35~17:30

第3部: パネルディスカッション『メディカルコミュニケーターに期待するもの』

モデレーター: 高山智子

パネリスト: 岸本葉子/山口建/佐藤(佐久間)りか/橋本明子

閉会あいさつ:

JMCA 理事長/東京大学医学系研究科 生物統計学/疫学・予防保健学

大橋靖雄

(敬称略)

《事務局からのお願い》

パネルディスカッションを活発なものとするため、事前に質問を受けつけたいと思います。ご質問のある方は内容を具体的に記載し、事務局までお送りください。

*** JMCA は、賛助企業のご支援により支えられています（平成 18 年 9 月現在 五十音順）***

アステラス製薬株式会社
 アストラゼネカ株式会社
 アムジェン株式会社
 イービーエス株式会社
 NPO 日本産業翻訳協会
 大塚製薬株式会社
 株式会社アイ・シー・オー
 株式会社アスクレップ
 株式会社ウィズウィグ
 株式会社エキスパートナー・ジャパン
 株式会社エスアールディ
 株式会社シナジー
 株式会社第一ラジオアイソトープ研究所
 株式会社ヤクルト本社

協和発酵工業株式会社
 キリンビール株式会社医薬カンパニー
 クインTAILズ・トランスナショナル・
 ジャパン株式会社
 グラクソ・スミスクライン株式会社
 クロノバ株式会社
 財団法人化学及血清療法研究所
 三共株式会社
 シェリング・プラウ株式会社
 シミック株式会社
 ソルベイ製薬株式会社
 第一製薬株式会社
 大正製薬株式会社
 大日本住友製薬株式会社

大鵬薬品工業株式会社
 帝人ファーマ株式会社
 電通サドラ・アンド・ヘネシー株式会社
 東京CRO株式会社
 トーアエイヨー株式会社
 日本イーライリリー株式会社
 日本オルガン株式会社
 日本臓器製薬株式会社
 ノバルティス ファーマ株式会社
 バクスター株式会社
 万有製薬株式会社
 三菱ウェルファーマ株式会社
 ヤンセンファーマ株式会社
 ライフサイエンス出版株式会社

【お申込方法】

参加ご希望の方は、以下を事務局宛（メール office@jmca-npo.org , FAX 03-5297-6259）にお送り下さい。追って参加費のお振込み先をご連絡いたします。

- 1 お名前（漢字・ふりがな）
- 2 ご所属の企業、大学または機関の名称と、部署・学部名
- 3 正会員、賛助会員、非会員、学生の別 ※賛助会員の方は、年会費1口につき2名様まで賛助会員扱い
- 4 ご連絡先の e-mail、お電話番号、FAX 番号
- 5 参加費請求書の要・不要 「要」の方は①請求書に記載するお宛名書き、②郵送先 をお書き添えください。
- 6 懇親会ご参加の有無
- 7 パネルディスカッションへのご質問

※ お名前、ご連絡先等の情報は、本セミナーへの登録・本協会からの情報提供以外の目的で使用されることはありません。

- JMCA 正会員・賛助会員の申込受付を優先し、お申込みが定員を大幅に超えた場合には、非会員、学生の方は抽選とさせていただきます。抽選となります場合は、ご参加の可否を17日（金）以降にご連絡させていただきます。
- サーバーやメーラーの状況により、協会からのご連絡メールが届かない場合があります。事務局よりお知らせがない場合には、お手数でもお問合せください。
- 一度お振込みいただきました参加費はご返金いたしかねます。また、懇親会のご参加を当日キャンセルされました場合には、参加費を申し受けさせていただきます。なにとぞご了承ください。

《会場ご案内図》

東京大学（東京都文京区本郷 7-3-1）



お問合せ先：特定非営利活動法人(NPO) 日本メディカルライター協会事務局
 TEL 03-5297-6258 FAX 03-5297-6259
 e-mail office@jmca-npo.org URL http://www.jmca-npo.org/